

芝浦工業大学無線研究部

2021 年度 OB 総会

Shibaura Ham Audio Computer OB Conference 2021

2021 年 12 月 11 日

芝浦工業大学 Zoom 配信



目次

芝浦工業大学無線研究部 2021 年度 OB 総会.....	0
2021 年 12 月 11 日 芝浦工業大学 (Zoom 配信)	0
OB 会 会長挨拶 -2021 年度無線研究部総会開催にあたって-	2
無線研究部 顧問の挨拶 -2021 年度無線研究部総会開催にあたって-	2
現役代表挨拶	4
芝浦工業大学無線研究部 OB 会会則	5
個人情報取扱規定	7
会計報告.....	10
各班活動報告	11
ハム班	11
コンピュータ班.....	12
オーディオ班.....	12
現役生からのお願い	13
不要品もらいます	13
無線研究部の Twitter があります.....	13
OB 会からのお願い.....	13
OB 会の Facebook があります	13
OB 幹事会に参加しませんか?	13
葉書でなくメールでのご案内を希望される方はお伝えください.....	13
無線研究部の歩み	14

OB 会 会長挨拶 -2021 年度無線研究部総会開催にあたって-

昭和 49 年度(昭和 50 年)卒 ハム班
OB 会会長 原 弘

OB 会会長の原です

OB 会の皆様、日頃より無線研究部 OB 会および無線研究部の活動に多大なる御支援と御協力を賜り、誠に有り難うございます。

OB 総会は、年に一度、懐かしの学校に集まって、OB 同士の友好を深めるとともに、現役生との質疑、懇談を通して刺激を頂く場なのですが、今般のコロナ騒ぎにより、在校生を含めて集まる事が困難な状況であります。

そのため本年度についても、オンライン会議”Zoom”のみでの開催となりましたことをお詫び申し上げます。

さて、会長を指名いただいて早 1 年経ちますが、コロナの影響が大きく、在校生との交流もままならず、OB 同士での親睦会すらも開けていない状況です。

顕著な成果は出せておりませんが、皆様のご協力と、名簿管理担当の広瀬君の頑張りで、OB 会名簿のブラッシュアップが完了し、葉書での案内を 22 名まで減らし、連絡のほとんどを「E メールによる連絡」にシフトできました。これにより、OB 会費の不要な支出を減らし、現役生支援に向けることが出来ました。

現在の無線研究部 OB 会ですが、“Zoom ラグチュー”もようやく定着し、毎週日曜日の夜 8~9 時に開催し、近況報告や、雑談等、ストレス発散の場? となっております。

特定年度卒業生による限定会(曜日、時間は自由)も開催出来ますので、ぜひご利用ください。

連絡・情報共有用に、LINE で、無線研究部 OB 会のグループがありますので、担当の前島まで LINE の QR コードを送付いただければ、メンバーに追加させていただきます。

メールアドレス：maeshima167@gmail.com

また、月に 1 回の OB 会幹事会では、学校や無線研究部の状況確認、相談事、設備調達支援などを行っており、後ほど、現役からも報告がありますが、辛うじて 2 名の新入部員が加わったのが、明るい知らせとなります。

これからも、OB 会役員一同と現役とで、魅力的な OB/現役生の交流の場となる OB 会となるよう改善していきますので、今後とも OB の皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

無線研究部 顧問の挨拶-2021年度無線研究部総会開催にあたって-

芝浦工業大学文化会無線研究部
顧問 中川 雅史 (土木工学科・教授)
平成 12 年卒 オーディオ班

OB 総会は 2 回目のオンライン開催となりました。おかげさまで、本年度も OB 総会を迎えることができました。OB のみなさまの大きなご助力に、部の顧問として感謝申し上げます。

国内外では、広い年齢層にわたって、オンラインツールの使い方に慣れてきた感があります。無線研究部 OB のみなさんにおいては、DX の波に乗れている方が多く、Zoom を使いこなした日曜夜のラグチューを楽しむに至っています（日曜夜は、子どもを布団に入れるまでの時間帯なので、なかなか参加できなくてすみません）。

今年度は、大学全体として、できるかぎり対面形式での授業履修へ戻しつつあり、ほぼ 100% の学生が対面形式で履修する授業も多くなりました。これは、学内での学生同士のコミュニケーションを確保することが、大学生活を成立させるうえで重要であるという大学の方針にもとづくものです。ハイブリッド授業環境（対面履修とオンライン履修を併用する授業環境）も残しており、オンラインツールの活用により、複数教室を利用した複数学部・学科向けの同時開講授業など、いままでできなかった授業スタイルも確立しています。大学内の人流がほぼ通常どおりに戻り、大学の活気は、COVID-19 感染拡大前にだいぶ近い状態になっています。家庭の事情により、オンライン履修せざるをえない学生も各学科で数%はいますが、最近では、「朝早く起きられなかった学生が 9 時からの授業をオンラインで履修している風景」を教室にいる学生たちと楽しめるようになってきました。

一方で、部活動の制限は昨年度からあまり大きな変化がない状態です。今年度もイベントごとに部活の活動申請をしてきましたが、大学から何回も活動申請が却下されました。部活動の制限が異常に厳しいことについては、大学内の管理を安全側に振るという考え方にもとづくところです。そのような制限のなかで、学生が大学に言えないことを、ストレートに代弁することが多かったのが、今年度の印象に残るところです。活動申請のたびに、どんどん活動申請の書類が分厚くなり、最終的には、大手企業の中間管理職が作成できるレベル以上の申請書を学生が作成できるようになってしまいました。転んでもただでは起きない無線研究部としては、このスキルアップは大きな収穫としていきたいと思います。また、申請が通った活動もあり、これらが事故なく実施できて良かったです。ただし、上記のような背景で、部活動の実施実績が蓄積できていない状態であるのは確かであり、学年間の技術継承が課題になりつつあります。OB のみなさまによる一層のご協力が必要になる予定ですので、引き続きよろしく申し上げます。

現役代表挨拶

芝浦工業大学文化会無線研究部 委員長 高橋孝輔

昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響で無線研究部は活動自粛を強いられ続けてきました。近頃は感染状況も落ち着いてきており、国による制限も大幅に緩和されてきています。しかし、大学からの制限緩和が世間より厳しく一步遅かったため、今年度のOB総会はやむを得ず学生も含む完全オンラインでの開催となりました。

このように、今年度は世間の制限と大学からの部活動制限の厳しさの乖離に苦しめられる年となりました。特に、「原則対面の授業が許可されているのに全く部活動ができない」という状況となった時期は、多くの学生が大学に対して大きな疑念と不信感を抱く結果となりました。大学としては表向きの体裁のためにクラスターを発生させてはならないとの方針での厳しい制限であったことは理解できます。しかし、その結果活動の引き継ぎや対人関係の構築ができず事実上の廃部や活動不全に陥る部活動やサークルが多発してしまった場合、クラスター発生以上のイメージダウンに繋がる可能性を考慮する長期的な視点が足りていないと感じました。

大学によるその場しのぎの理不尽な制限の中、我々無線研究部はなんとか活動を行おうと努力致しました。針の穴を通すように制限の合間を突いて、徹夜許可は得られず短時間ではあるものの6m AND DOWN コンテストや全市全郡コンテストに参加することができました。文化会所属団体では、今年度活動許可を得ることができた団体は無線研究部と数えるほどであるとの話でしたので、粘り強い交渉をしてくださった担当者には感謝の念しかありません。

無線研究部では、昨年度では1名のみだった新規入部者が、今年度では6名となりました。これは新歓担当者がコロナ禍の中、オンラインでの勧誘活動に尽力してくださった結果であり、部活の存続が危ぶまれている状況での入部者の増加はとても喜ばしいことでもあります。

まだ課題は山積みですが、OBの方々には無線研究部の活動にご理解をいただき、またお力をお借りできたら幸いです。

芝浦工業大学無線研究部 OB 会会則 <改訂 4>

第一章 名称

第 1 条 本会は芝浦工業大学無線研究部 OB 会と称す

第 2 条 本会は本部を埼玉県さいたま市見沼区深作 3 0 7 芝浦工業大学大宮校舎内に置く

第二章 目的

第 3 条 本会は会員相互の交友親睦を深め、併せて芝浦工業大学無線研究部の発展を図ることを目的とする

第三章 会員

第 4 条 本会は下記の会員から組織する

1. 正会員：芝浦工業大学無線研究部に在籍し、且つ活動を終了した者
2. 準会員：芝浦工業大学無線研究部に在籍している学生及び大学院生

第 5 条 会員は下記の事項を守らなければならない

1. 転居又は住居表示及び連絡先が変更された場合は速やかに届け出なければならない
2. 所定の会費を納入しなければならない

第四章 役員

第 6 条 本会は下記の役員を置く。但し、役員は総会の決議を経て選出される。なお、5、6、9 はその限りではない。また、6 及び 9 は無線研究部の学生から選出される

1. 名誉会長 若干名
2. 名誉顧問 若干名
3. 会長 1 名
4. 副会長 若干名
5. 無線研究部顧問 1 名 : 教職員
6. 会計 1 名 : 準会員 (学生)
7. 会計監査 2 名
8. ネット/個人情報台帳管理幹事 若干名
9. 代表学生幹事 (無線研究部委員長)、OB 担当幹事 (個人情報台帳担当を含む)、

会員管理幹事、ホームページ管理幹事

第 7 条 役員の変更は、諸事情により職務の遂行に支障を来たす場合にのみ、当役員が指名し、総会にて報告する

第 8 条 副会長は会長を補佐し、会長に支障のある時はその職務を代行する

第五章 運営

第 9 条 総会

1. 総会は年 1 回行い、原則として大宮キャンパスまたは豊洲/芝浦キャンパスで交互開催とする
2. 会長が必要と認めたときは役員会の決議を経て臨時総会を招集することができる
3. 総会の議長は、原則として会長とする

第 10 条 役員会

本会は役員によって組織され、役員間の協議によって招集し、下記の運営を執行する

1. 年間行事の計画およびその執行
2. 会費徴収及び会計報告
3. OB 会に関すること
4. OB 相互に関すること

第 11 条 総会及び役員会の決議は、出席会員の過半数の賛成をもって可

決する

第12条 会計

1. 本会の経費は、年会費及び寄付金などの収入をあてる
2. 年会費を金3,000円也とし、本会に納入する

第13条 本会の事業及び会計は毎年4月1日に始まり翌年3月31日迄とする

第14条 本会会則は総会の議決を経て改定する

付則：本会会則は総会の議決を経て改定する

1. 当会則は1993年12月25日から施行する。
2. 当会則改訂1は2007年4月1日から施行する。
3. 当会則改訂2は2012年1月1日から施行する
4. 当会則改訂3は2020年12月13日から施行する
5. 当会則改訂4は2021年12月11日から施行する

個人情報取扱規定

(目的)

第1条 この取扱規定は、芝浦工業大学無線研究部 OB 会（以下 OB 会という）が保有する個人情報について適正な取扱いを確保することを目的として定める

個人情報は、氏名、読み、住所、メールアドレス、電話番号、卒業年度、勤務先、卒業学科、学籍番号、勤務先、無線部役職、コールサイン、逝去、である

(責務)

第2条 OB 会は、国が定める個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）（以下「法」という）等を遵守するとともに、OB 会の活動において個人情報の保護に努める

(周知)

第3条 OB 会は、この個人情報取扱規定を、無線研究部のホームページ により、会員に周知する

(管理者)

第4条 OB 会における個人情報の管理責任者は、OB 会会長とし、管理責任者は、個人情報の管理を行う個人情報管理者（以下管理者という）を若干名任命する

(取扱者)

第5条 OB 会における個人情報の取扱者（閲覧・利用者）は OB 会会則第6条の役員とする

(秘密保持義務)

第6条 個人情報の管理責任者・管理者・取扱者（以下管理責任者・管理者・取扱者）は、職務上知ることができた個人情報をみだりに他人に知らせ、または不当な目的に使用してはならない、また離任後、OB 会退会後も同様とする

(個人情報の取得)

第7条 OB 会の個人情報は、芝浦工業大学無線研究部そして、本人からの連絡等により個人情報を取得する

(利用)

第8条 OB 会が保有する個人情報は、下記に掲げる項目に利用する

- (1) OB 会個人情報台帳の作成
- (2) 幹事会・OB 総会等々の OB 会活動の案内
- (3) 芝浦工業大学や無線研究部の活動状況の報告広報
- (4) 無線研究部 OB の活動に関する各種情報発信

(管理)

第9条 個人情報は管理者のみがアクセスできるサーバーにパスワード設定したファイルで管理者が保管するものとし、適正に管理する

不要となった個人情報は、適正かつ速やかに廃棄する

(提供)

第10条 個人情報は、以下に掲げる場合を除き、本人の同意を得ずに第三者には提供しない

- (1) 会員本人から個人情報を取得する際に伝えて同意を得ている範囲で提供する場合
- (2) 法令に基づく場合
- (3) 人の生命、身体または財産の保護のため必要な場合
- (4) 国の機関もしくは地方公共団体またはその委託を受けた者が、法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合。

第11条 管理者は個人情報を芝浦工業大学無線研究部・芝浦工業大学無線研究部OB会を除く第三者に提供したときは、法第25条（個人情報の保護に関する法律）に定める第三者提供に係る記録を作成し保存する

(第三者提供を受ける際の確認等)

第12条 管理者は、第三者から個人情報の提供を受けるに際しては、法第26条に定める第三者提供を受ける際の確認を行い、記録を作成し保存する

(開示)

第13条

- (1) 個人情報提出者は、提供した個人情報提出者本人の個人情報について管理者に対し開示を請求することができる
- (2) 管理者は、個人情報提出者本人から本人の個人情報の開示について請求があったとき、本人に開示する

(個人情報の訂正等)

第14条

- (1) 個人情報提出者は、第7条に基づき提供した会員本人の個人情報について管理者に対し訂正等を求めることができる
- (2) 前項の請求があった場合、管理者は直ちに該当する個人情報の訂正等を行う

(漏えい発生時等の対応)

第15条 管理者・取扱者は、個人情報を漏えい、滅失、き損等の事案の発生又はその兆候を把握した場合は、直ちに管理責任者に連絡する
管理者は、事実及び原因の確認、被害拡大の防止、影響を受ける本人への連絡、再発防止等の対応を行う

(開示請求及び苦情相談窓口)

第16条 OB会における、開示請求及び苦情相談窓口は、管理者とする

(附則)

この規約は、2020年12月13日から施行する

会計報告

2020 年度芝浦工業大学無線研究部 OB 会会計について、下記の通り報告いたします。

なお、参考として 2019 年度のデータを括弧内に記載しております。

収入の部		
OB 会費	¥3,000 × 28 名	¥ 84,000(¥ 45,000)
寄付金		¥ 61,000(¥ 70,000)
前年度繰越金		¥ 351,141(¥ 329,002)
利子		¥ 4(¥ 4)
計		¥ 496,145(¥ 444,006)
支出の部		
往復はがき代		¥ - (¥ 6,065)
OB 幹事会経費		¥ - (¥ 6,400)
OB 総会経費 (配信機材レンタル費, 封筒代等)	¥33,896	(¥ -)
現役活動支援(自動車保険代)	¥ 79,080	(¥ 80,400)
振込手数料(会費集金に係るもの)	¥ 576	(¥ -)
計		¥ 113,552
(¥ 92,865)		
差引残高		
収入 — 支出(繰越金)		¥ 382,593
(¥ 351,141)		

以上、2020 年度芝浦工業大学無線研究部 OB 会会計報告といたします。

OB 会会計 杉崎嶺

12 月 8 日 会計監査担当として上記会計報告に問題ないことを確認しました。

会計監査：前島克好
広瀬正幸

各班活動報告

ハム班

ハム班 班長 杉崎 嶺

ハム班では、無線機やアンテナの設備管理、コンテストへの参加を中心に活動しております。

本年度はコロナ禍にもかかわらず2人の後輩がハム班に入り、講習会やコンテスト、アンテナ整備といった活動を行ってきました。

昨年に引き続き、ハム班の活動は新型コロナウイルスの影響で制限されており、思うような活動ができませんでしたが、何度かコンテストを行うことができました。

例年は4月にALL JA コンテスト、7月に6m and down コンテスト、8月にField day コンテストに参加していましたが本年度の4大コンテストへの参加は7月に行われた6m and down コンテストと、10月全市全郡コンテストのみとなりました。

参加できたコンテストについても徹夜での参加禁止や準備時間の制限により万全の態勢で臨むことができず、例年よりも大幅に得点を落とす結果となってしまいました。

今後も厳しい状況が続くと思われませんがローカルコンテストへの参加など、大学当局と調整しながらできるだけ多くの活動ができるよう努めて参ります。

また、Field day コンテストなど、学内だけでなく学外での活動にも参加できるように、努力して参ります。

これからも部員が多くの知識を得られるよう、OBの方々から頂いた機材等を活用して様々な知識を習得できるよう精一杯活動させて頂く所存です。



コンピュータ班

コンピュータ班 班長 高橋 孝輔

コンピュータ班では、部内ネットワークやPC、サーバー等の管理保全を行っております。

今年度も昨年度に引き続いて新型コロナウイルスの影響により、部室に自由に入れない等自由な活動は難しい状況でした。6m AND DOWN 及び全市全郡コンテストにて、後輩にコンテストでのコンピュータ班の業務の引き継ぎを行いました。同時に、LAN ケーブルやスイッチングハブ等ネットワーク系消耗品の劣化が見受けられたため、これらの交換も行いました。また、昨年度から確認されていたルーターの不具合について、仮復旧まで行いました。今後活動制限は緩和されていく見込みであるので、その際に安定状態まで整備する予定です。

来年度はより活動の機会が増える見込みですので、できる限り技術継承を行っていく所存です。

オーディオ班

オーディオ班 班長 清水 友香

オーディオ班は、主に PA (Public Address) を通じた技術的関心を深めることや、技術向上を目指して、学内外でライブやイベントなどの音響を行っています。

また学外業者の音響現場の手伝いを通じて、プロの現場の見学・体験もさせていただいております。

本年度は3人の後輩がオーディオ班に所属し、研究活動や講習会を通じ知識を深めてきました。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響で思うように活動ができませんでしたが、オーディオ講習会を通じ、後輩への技術継承を進めてきました。

また例年より少ないものの、このような中でも学外業者の方からのご依頼をいただき貴重な経験をさせていただきました。

来年度は新班長のもと、PA や技術向上に努めていく所存でございます。

現役生からのお願い

不要品もらいます

無線研究部ではご家庭、職場などで不要となった測定機器類、コンピュータ等を求めています。OBの皆様にとっては不用となったものでも、部員にとっては宝の山になることも少なくありません。そのような物品がございましたらぜひご連絡ください。関東地域など、近場でしたら基本的にこちらから伺わせて頂きますが、その都度状況が変化いたしますので、恐れ入りますがご連絡頂いた際に引き渡し方法について現役部員とご相談くださいますようお願いいたします。

連絡先 : chief@shibaura-hac.net

無線研究部の Twitter があります

無線研究部の Twitter アカウントがあります。コンテストや各イベント時にその模様を投稿しております。現役部員の活動の様子などを知ることができると思いますので、よろしければ是非ご覧ください。

アカウント名 : @JA1YXP

OB 会からのお願い

OB 会の Facebook があります

無線研究部 OB 会の Facebook グループがあります。Twitter と同様コンテストや各イベント時にその模様を投稿しております。よろしければ是非ご覧ください。

非公開グループとなっておりますので、参加するにはグループからの招待が必要になります。部員または OB 幹事会にご相談ください。

OB 幹事会に参加しませんか？

現役生、OB による活動報告、交流を目的とした集まりを開催予定です。

2021 年はオンラインでの開催により、多数行うことができました。現役生による活動報告、OB による測定器講習会などを行いました。

いつでもご参加できますのでご希望の方はお伝えください。

葉書でなくメールでのご案内を希望される方はお伝えください

経費削減のため可能な方はよろしく申し上げます。

無線研究部の歩み

- 1952年(昭和27年)
夏 *第1回アマチュア無線技士国家試験実施
12月 *第2回国家試験でOB会初代会長小森谷英俊氏(JA1HF)、現会長岡田平治先生(JA1HR)、無線研究部前顧問石井義平先生(JA1HI)らが大学合格、無線研究部発足に向けての技術的な基盤を築いた(当時は好きなコールサインが申請できたそうか?)
- 1954年(昭和29年) 部長:大山氏または大和田氏(現在の委員長に当たる)
1955年(昭和30年) 部長:岡田、会計:金子
*校友会に予算申請してテレビ製作予算を獲得、長谷川氏らと電気実験室の廊下を部屋に借りてキッドのテレビを作成
1956年(昭和31年) 部長:金子、会計:京相
*学園祭(当時はそう呼んだのか)でナショナルの計器類を展示すると共に金子氏の自宅より運んだシャックで無線局を公開
1957年(昭和32年)
吉日 *小和田、石田、大山、渡辺各先輩らの協力を得て文化会無線研究部が発足 *その後、小森谷英俊氏の活躍でHF帯、VHF帯のアンテナが建設された
- 1959年(昭和34年)頃
*飯野ホールにおいて3トラック・テープレコーダの磁気ヘッドに着磁したノイズ除去装置を開発し、立体音響発表会を開催して好評を得たその後 *光通信による約50mのテレビ中継に成功した
*多チャンネル調整卓(12チャンネル)を試作した
- 1960年代
*真空管式435MHz帯送信機を試作、巣鴨のJARLと芝浦校舎との間で当時の日本タイ記録10Kmの伝搬実験に成功
- 1961年
夏 *福島県裏磐梯檜原湖村で夏期合宿、夢中の磐梯山へ米軍放出10Kg近いトランシーバを担いで登頂
- 1962年
夏 *長野県野尻湖村の公民館を借りて自炊の夏期合宿、テレビなど電気製品の無料修理実施に対し信濃毎日新聞の取材を受ける
- 1963年
夏 *宮城県松島で夏期合宿、午前中は先輩による勉強会、午後は岩場に出てサザエやアワビ取り、夕景は浜辺でキャンプファイヤを囲みウクレレを奏で、笛を吹きハワイアンに深夜まで興じた
- 1964年
夏 *2年前と同じ長野県野尻湖村で夏期合宿
月 日 *岡田平治会長の要請で氏が電気工学科古田晋吾教授を顧問に
- 1994年(平成6年)
11月 *第1回無線研究部OB総会開催、初代会長に小森谷英俊氏を選出
- 1996年
*大宮校舎にて第2回OB総会開催
- 1998年(平成10年)
7月31日 *8月2日まで新潟県石打スキー場近くのペンション“アインホルン”にて夏期合宿、参加者:現役20名、OB7名
11月19日 *小森谷英俊OB会長逝去(享年65才)
28日 *大宮校舎にて第3回OB総会開催、満場一致で岡田平治新会長を選出
- 1999年(平成11年)
8月6日 *8日まで新潟県越後湯沢村にて夏期合宿、参加者:現役21名、OB9名
- 2000年(平成12年) 委員長:中島暁子、渉内:畑根啓基、渉外:岡田健太郎
8月4日 *6日まで長野県戸狩野沢温泉村“ベルフォーレ”にて夏期合宿、参加者:現役25名、OB7名
11月 日 *大宮校舎にて第4回OB総会開催、参加者:OB17名、現役 名
OB会より5万円寄贈の申し出あり
- 2001年(平成13年) 委員長:濱田幸信、渉内:中野博貴、渉外:佐々木裕果
4月28~29日 *ALL JA コンテスト FMML 社団局電信電話L部門 全国第1位
8月3日 *5日まで新潟県斑尾高原にて夏期合宿、参加者:現役23名、OB10名
10月6~7日 *全市郡コンテスト FMML 社団局電信電話L部門 全国第2位

2002年(平成14年) 委員長:池谷昌浩、渉内:中山健、渉外:河原珠代
 2月 *第12期高松重治氏よりジャンクパーツ寄贈の申し出あり
 8月9日 *10日まで長野県下高井郡山之内町大字夜間瀬の北滋賀高原ヤ
 ングイン北滋賀ユートピア別館・“ういんさむ”にて夏期合宿、
 参加者:現役16名、OB14名
 11月 *芝浦祭にてそば飯屋台出店・教室展示
 11月日 *大宮校舎にて第5回OB総会開催、参加者:OB 名、現役
 名

2003年(平成15年) 委員長:鈴木正泰、渉内:妙一伸吾、渉外:松本佳明
 8月1日 *3日まで静岡県南伊豆町下賀茂の国立公園南伊豆下賀茂温泉
 “HOTEL みなみの荘”にて夏期合宿、参加者:現役11名、OB
 6名

11月 *芝浦祭にてフライドポテト屋台出店
 2004年(平成16年) 委員長:森琢也、渉内:鈴木正泰、渉外:田中陽祐
 8月6日 *8日まで福島県耶麻郡北塩原村裏磐梯高原秋元湖畔“旅館ひば
 り荘”にて夏期合宿、
 参加者:現役16名、OB2名

9月22日 *大宮キャンパス無線中継室に落雷
 11月 *芝浦祭にて教室展示・たこ焼き販売
 12月11日 *大宮校舎にて第6回OB総会開催、参加者:OB16名、現役
 名

2005年(平成17年) 委員長:田中源紀、同副委員長:伊藤伸也、会計:
 渡辺貴文

ハム班長:森田修、オーディオ班長:米山知輝、コム班長:渡
 辺貴文

*部員 1年生:8名、2年生:4名、3年生:5名、4年生:5名 計 2
 2名

8月26日 *28日まで茨城県阿字ヶ浦“日の出荘”にて夏期合宿、
 参加者:現役18名(1年生6名、2年生4名、3年生4名、4
 年生4名)、OB11名(中山、河原、池谷、渡辺、吉田、犬
 山、中川、鈴木、増田、石川、石黒) 計 29名

【時期が良かったのか場所が良かったのかわかりませんが、OBが大勢参加されま
 して近年まれに見るにぎやかな合宿となりました。OBから花火の差し入れがあり、
 現役・OB一緒に海岸にて花火を楽しむなどOBとの交流もでき、大変有意義な合
 宿でした。OBが大勢参加されたぶん研究発表も活発になり、1年生には良い経験
 となったようです。 報告 渡辺貴文】

11月 *芝浦祭にて教室展示・じゃがぼた一販売

2006年(平成18年) 委員長:青木智資、同副委員長:、会計:青嶋
 成佳

ハム班長:、オーディオ班長:青木智資、コム班長:小林泰
 士

*部員 1年生:7名、2年生:7名、3年生:4名、4年生:5名 計 23
 名

3月 *田町キャンパス閉鎖に伴い田町部室撤去

8月25日 *27日まで群馬県利根郡片品村戸倉628“ペンションゆきみち”
 にて夏期合宿、

参加者:現役18名(1年生4名、2年生7名、3年生4名、4年生3名)、OB
 11名(石黒、中川、鈴木、谷安、藤原、石川、増田、鈴木、濱田、桑原、森) 計
 29名

11月2日~ *芝浦祭にてベビーカステラ屋台出店・教室展示

12月9日 *大宮校舎にて第7回OB総会開催、参加者:OB16名、現役1
 1名

2007年(平成19年) 委員長:町井溪介、同副委員長:八巻奈々恵、会計:
 田中亨

ハム班長:菅野英俊、オーディオ班長:鈴木幹也、コム班長:佐々木
 淳一

*部員 1年生:8名、2年生:4名、3年生:7名、4年生:3名 計 22名

8月31日 *9月2日まで静岡県沼津市内浦三津8-6“山三ビューホテル”にて夏
 期合宿、

参加者:現役19名(1年生7名、2年生2名、3年生6
 名、4年生4名)、OB9名(藤原、増田、石川、河原、池谷、
 中山、鈴木、桑原、渡辺) 計 28名
 あわしまマリンパークでイルカショーを楽しむ。

2008年（平成20年） 委員長：細川 直哉、同副委員長：松土 章吾、会計：高野 大輝

上 尚也
 ハム班長：高野 大輝、オーディオ班長：前 美江、コム班長：井

 *部員 1年生： 20名、2年生： 3名、3年生： 2名、4年生： 7名 計 32名
 8月 29日 *8月31日まで長野県 信州野沢温泉 “内伴（うちはん）”にて夏期合宿、

2017年（平成29年） 2017年全市全郡コンテスト XMA 電信電話部門マルチ
オペ

ぶり
 オールバンド H において5位で入賞。ACAG での入賞は約15年

芝浦工業大学校歌

北原白秋 作詞

山田耕筰 作曲

行進の流れにのって

あ さ ひ に か が や く - か ぜ と う し
 お ゆ う だ い そ ら あ り - く も は う - つ
 る あ お げ よ - こ う き の へ ん ば
 ん - た る - を - は く あ の で ん とう - こ
 こ に そ び - え - わ れ ら が こ う が
 く - え い き あ つ む - し ば う
 ら - し ば う ら - わ れ ら が ほ こ - う -

三

芝浦工業大学
 精微をきはめて
 夢むな空理の
 誠実 大を成さん
 永遠に栄ゆく
 ただあり 道は徹る
 意志と秩序
 漠々たるを
 事に即かば

二

芝浦工業大学
 剛健 矩あり 常に鍛ふ
 世紀に脈うつ 熱と理性
 行へほがらに 深刺たれや
 師弟の純情 一に依りて
 磨くにこの技 神に通ず
 芝浦 芝浦 われらが母校

一

芝浦工業大学
 朝日に輝く 風と潮
 雄大 空あり 雲は移る
 仰げよ校旗の 翻翻たるを
 白垂の殿堂 ここに聳え
 われらが工学 英気鐘む